

## 医療関係者の SNS 利用

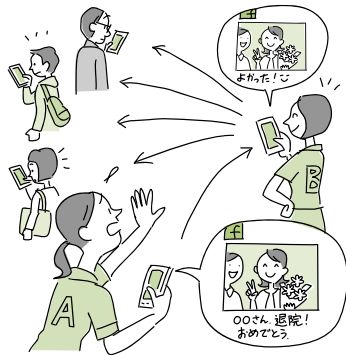
SNS とはソーシャルネットワーキングサービス (social networking service) の略称で、パソコンやスマートフォン (スマホ) などでメッセージや写真・動画などをやり取りし、インターネット上の交流を図ることを目的としたサービスです。

代表的なものに、Facebook (フェイスブック)、Twitter (ツイッター)、LINE (ライン)、mixi (ミクシイ) などがあり、広い意味ではブログも含まれます。家族との連絡や、趣味のグループの情報交換などで活用している人も多くおられると思います。

しかし、医療機関の職員は、SNS を個人的に利用しているつもりでも、思いがけなく患者さんのプライバシーを侵害したり、個人情報を漏らしたり、勤務する病院や他の職員などの社会的評価を傷つけたりするおそれがあります。次の事例の問題点を考えてみましょう。

**事例 1** 病院勤務の A さんが、自分の病院を退院する患者さんが友人だったので、スマホで記念写真を取り、後日、その写真を Facebook に投稿した。患者さんの許可は得なかったが、自分の Facebook は公開を制限する設定にしているので大丈夫と思っていた。ところが、写真を見た知人 B さんが、自分の Facebook にその写真を載せてしまったため、不特定多数が閲覧可能な状態になってしまった。

！ SNS は、公開する設定になっていると、不特定多数から閲覧可能となります。また、友人しか見られない状態に設定しているつもりでも、設定ミスをしたり、グループの他のメンバーが公開してしまったりする可能性があります。



**事例 2** 病院勤務のスタッフが、「私が勤めている病院のロビーでタレントの〇〇を見かけた」と Twitter でつぶやいた。ニックネームで投稿し、病院名も書かなかったが、以前に投稿した内容から住んでいる地域や勤務先が推定され、Twitter で情報が拡散してしまった。

**事例 3** 病院勤務のスタッフが、「やっと、帰宅。今日は認知症の患者さんの捜索で大変だった。疲れました～」と SNS に書き込んだ。匿名なので問題がないと思っていたが、後日、あまり付き合いのない人から、「あなたの病院で患者さんが行方不明になったんですって?」とたずねられた。

！ SNS では、匿名で投稿しても、複数の情報から、所属や氏名が特定されてしまうおそれがあります。

！ 医療機関で働く人は、仕事にかかわること、仕事上で知ったこと、患者さんやその家族に関することは、匿名、実名にかかわらず、SNS に書き込んではいけません。

SNS の利用について気になることがあったら、職場で話し合ってみよう！